

革新的なアイデアを創出するプラットフォーム

IDEASCALE

ISO56001 イノベーションマネジメントシステムに関する国際規格取得

1. 支援事業者情報

(1) 事業者名 (*)

Ideascaleジャパン株式会社

(2) ホームページアドレス (*)

<https://ideascale.co.jp/>

(3) 代表者の役職、氏名 (*)

スバシンヘイスル

(4) 設立年月 (*)

2020年6月

2. 事業の背景について

(1) 貴社はどういった会社ですか (理念、特徴、一言、他)。(200字程度) (*)

IdeaScaleは社員一人ひとりの声を企業の力に変えるイノベーション創出プラットフォームを提供するグローバルSaaS企業です。社員や顧客からアイデアを集め、選別・実行につなげる仕組みによりボトムアップ型の持続可能なイノベーション文化の定着を支援します。政府機関から大手企業まで、世界で4,000以上の組織が導入。理念は「すべての人に、変革のチャンス」。誰もが挑戦できる組織づくりを共に実現します。

(2) どのような問題意識から、貴社を創業されましたか。(200字程度) (*)

企業の多くが「イノベーションの必要性」を感じながらも、実際には現場の声が埋もれ、行動につながらないという課題を抱えておりトップダウンではなく現場から自然に生まれるアイデアを活かす仕組みが必要だと感じたことが創業の原点です。社員一人ひとりの気づきや提案こそが、組織を変える最も大きな力になるその思いから、誰でも参加できるボトムアップ型イノベーションを支援します。

3. 事業について

(1) 貴社ホームページから、支援内容・サービスに関する主なサイトURLを記載ください。

<https://ideascale.co.jp/ideascale/>

(2) 特にアピールしたい支援内容・サービスについてご紹介ください。(200字程度) (*)

IdeaScaleは、ISO 56000シリーズ(イノベーション・マネジメントの国際規格)に準拠した唯一のプラットフォームとしても高く評価されています。アイデアの創出から選定、実行、成果の可視化までを一貫して支援し、国際標準に基づくイノベーション活動を実現します。また、国際資格を持つイノベーション・コンサルタントが伴走し、制度設計やKPI構築、運用支援まで手厚くサポート。仕組みと人の両面から、挑戦が根づく組織づくりを支援します。

(3) 特にアピールしたい支援内容・サービスの価格帯をお示しください。

1. サービス名や内容: SPEED Ideation ワークショップ 30日間Ideascale SaaSプラットフォーム使用

(4) 貴社における、連携先の探索の仕方をご説明ください。(200字程度) (*)

IdeaScale ジャパンでは、共にイノベーション文化を醸成できるパートナーを重視し、業界や企業規模に関わらず、課題意識や挑戦意欲を持つ企業・団体との連携を進めています。主に既存ユーザー企業からの紹介や、LinkedIn・イベントを通じたネットワーキング、自治体・大学との共創を通じて新たな連携先を探索。また、ISO56000やオープンイノベーションに関心の高い組織へのアプローチも行い、相互に学び合いながら価値共創を目指しています。

(5) 支援サービスの特徴をご説明ください。(400字まで) (*)

単なるアイデア募集ツールにとどまらず、「挑戦が根づく組織文化」を育む総合支援が特徴です。SaaS型プラットフォームにより、アイデアの収集・選定・実行・可視化を一元管理。ISO56000シリーズに準拠した唯一のシステムとして、国際基準に沿った運用が可能です。導入後は国際認定コンサルタントが伴走し、初期設計から運用支援、KPI設計まで包括的にサポートします。全社展開や外部連携も柔軟に対応し、継続的なイノベーションを推進します。

https://ideascale.co.jp/doc_download/

(6) 具体的な支援事例についてご記載ください。(400字まで) (*)

貴社ホームページで紹介されている場合は、そのURLをご記載ください。

IdeaScale Japanは、企業のイノベーション推進を支援するため、以下のようなサービスを提供しています。

1. イノベーション管理プラットフォーム『IdeaScale』の提供

社員や顧客からアイデアを収集し、評価・実行に移すプロセスを一元管理できるSaaS型プラットフォームを提供しています。
ideascale

2. 人材育成プログラムの実施

イノベーション人材の育成を目的としたプログラムを提供し、組織内のイノベーション文化の醸成を支援しています。

(7) 支援を受けた際に期待される効果についてご記載ください。(400字まで) (*)

1. 社員の創造性と当事者意識の向上

誰もがアイデアを出し、議論に参加できる環境が整うことで、社員の主体性や自発的な挑戦意識が育まれます。

2. 組織文化の変革

トップダウンではなく、ボトムアップでイノベーションが生まれる文化が定着し、変化に強い組織へと進化します。

3. アイデアの質と実行力の向上

多様な視点からの提案を集めることで、より実行可能で価値あるアイデアが生まれ、事業化までのスピードが加速します。

4. イノベーションの継続的な仕組み化

ISO56000シリーズに準拠した運用により、単発の施策で終わらず、継続的かつ戦略的なイノベーション活動が可能となります。

(8) これまでの事業化成功事例や実績についてご記載ください。(400字まで)

・ご記載の事例が、別ページにある製品-市場成長マトリックスのうち「新製品開発」、「新市場開拓」、「多角化」のいずれに該当するかお示しください。
・ホームページで紹介されている場合は、そのURLをご記載ください。

楽天株式会社では、IdeaScaleを導入し、社員からのアイデアをもとに「Rakuten Drone(そら楽)」「Rakuppa(ラクパ)」など複数の新規サービスが事業化されました(該当:新製品開発/新市場開拓)。導入初年度で8,450人が参加、395件のアイデアが投稿され、同年には「世界で最も革新的な企業」ランキングにランクインしました。詳細は以下で紹介しています。

https://ideascale.co.jp/doc_download/

他の事例(NTTドコモ、Sansan、システムコンシェルジュなど)を追加したバージョンも可能ですので、ご希望あればお知らせください。

4. 顧客について

(1) 貴社が想定される顧客像をご記載ください。(200字程度) (*)

IdeaScaleが想定する顧客像は、自社のイノベーションを継続的かつ戦略的に推進したいと考える企業・団体です。業種や規模を問わず、社員の声を活かしたボトムアップ型の組織文化を築きたい、またはISO56000シリーズに準拠した仕組みで社内イノベーションを制度化したいと考える企業が主な対象です。経営層から現場まで巻き込んだ、実行力ある変革を目指す組織に適しています。

(2) 顧客が抱える主な課題やニーズをご紹介ください。(200字程度) (*)

顧客が抱える主な課題は、社員のアイデアが埋もれてしまい、イノベーションが継続・実行されないことです。また、部門間連携の不足や、既存業務に追われて新しい挑戦に取り組む余裕がないという声も多く聞かれます。そうした中で、誰もが参加できる仕組みや、アイデアの見える化、評価・実行プロセスの整備など、イノベーションを「仕組み化」したいというニーズが高まっています。

5. 貴社のお考え、今後の展望などをご記載ください。(400字まで) (*)

(イノベーション、新規事業創出、オープンイノベーション活動、ビジョンやミッションなどについて)

IdeaScale ジャパンは、「誰もが挑戦できる組織文化を日本に根づかせる」ことをビジョンに掲げ、イノベーションの民主化を推進しています。これまで一部の部門や人材に限定されがちだったイノベーション活動を、全社員が関わる日常的な取り組みへと変えることを目指しています。今後は、国内におけるISO56000シリーズ準拠のイノベーション・マネジメント普及を進めると同時に、自治体・大学・スタートアップなどとのオープンイノベーション活動のハブとしての役割も強化していきます。日本企業の強みを活かしつつ、持続可能な新規事業創出と組織変革を支援するパートナーであり続けたいと考えています。

6. 問合せ窓口 担当者の情報

(1) 担当部署 (*)

イノベーション推進

(2) 担当者氏名

スバシンヘイスル

(3) 電話番号 (*)

080-3950-7502

(4) メールアドレス (*)

contact@ideascale.co.jp